

令和7年度 地域を担う次世代人材育成プロジェクト 成果報告書



令和8年3月
鹿児島県教育委員会

目 次

刊行に当たって

I 令和7年度地域を担う次世代人材育成プロジェクト実施要項

II 実施報告

1 実施校：鹿児島県立鹿児島南高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・P 1

プ ラ ン	南のお宝発見隊！ ～谷山地域の活性化を目指して～
概 要	フィールドワークや県内企業と協働した商品開発，地域行事への積極的な参加等をとおして，他者と協働する態度や，地域に貢献しようとする意識を養い，地域とともに生きる姿勢を備えた人材の育成を目指す。
協 働 先	かごしま市商工会，公益社団法人鹿児島青年会議所，谷山ふるさと祭振興会，NPO 法人ゆめみなと鹿児島，鹿児島市立清和小学校，学校法人原田学園鹿児島情報高等学校，株式会社イケダパン，社会福祉法人慶生会 La Plus，株式会社ニシムタ，A コープ谷山店，鹿児島製茶株式会社，ケーキハウス Sin，キューブ株式会社，株式会社 JA 物流かごしま

2 実施校：鹿児島県立大島北高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・P 18

プ ラ ン	奄美を担う次世代人材育成プロジェクト ～探究活動等の更なる充実を目指して～
概 要	地域の人やモノなど，多様な教育資源と関わりながら，地域への興味・関心を高め，地域課題の探究をとおして主体性や協調性，課題解決力を養うとともに，郷土への愛着を醸成する。これにより，将来的な島への人材の還流を促進することを目標とする。
協 働 先	鹿児島県商工労働水産部産業立地課，鹿児島県教育庁高校教育課，奄美市役所，奄美市住用総合支所，奄美市笠利総合支所，龍郷町観光企画課，奄美市立奄美博物館，奄美野生生物保護センター，鹿児島大学教育学部，奄美市立赤木名中学校，サイバー大学，奄美漁業協同組合，宇検村漁業協同組合，赤木名八月踊り保存会，黒潮の森マングローブパーク，本場奄美大島紬協同組合青年部，NPO 法人ゆいむすび実行委員会，町田酒造株式会社，栄食品工業株式会，あまみエフエム，合同会社 AMAMI バリュープロデュース，奄美リゾートばしゃ山村，奄美パーク，合同会社味の郷かさり，サトウキビ受託組合，原永ファーム，奄美伍郷商店，豆と麦，栄農園

3 実 施 校：鹿児島県立鹿児島水産高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・ P 33

プラン	<p style="text-align: center;">アマモとチョウザメでつなぐ未来 ～水高生 結 プロジェクト～</p>
概要	<p>これまで産学官が連携して，育成したアマモでアマモ場を造成し，養殖したチョウザメからキャビアを生産し販売するなど，環境保全や地域の活性化に取り組んできた。今年度は，これまでの取組に加え，キャビアを安定的に生産する技術の探究，地域の学校と連携してアマモの育成を行う活動やキャビアの魅力創出に向けた活動を行う。これらの活動をとおして，郷土の海を守り育てようとする意識をもち，地域の魅力や資源を生かして新たな価値を創造し，地域活性化に主体的に取り組む人材の育成を目指す。</p>
協働先	<p>南さつま市藻場再生協議会，玉川大学農学部，近畿大学水産研究所新宮実験場，加世田高等学校，薩南工業高等学校，南薩特別支援学校，株式会社ディ・シィ・ティ，株式会社キャビア王国</p>

4 実 施 校：鹿児島県立隼人工業高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・ P 51

プラン	<p style="text-align: center;">新時代を切り拓く地域融合型人材育成プロジェクト ～コンソーシアムパーク隼人～</p>
概要	<p>昨年度は霧島市に集積する学校や企業の特徴を生かし，産学官がコンソーシアムを構築し，地域社会と一体となった教育活動を進めてきた。今年度は，これまでの活動に加え，新たな取組として，デジタル技術やアントレプレナーシップ教育を取り入れる。これらの取組をとおして，地域や工業教育への誇りや愛着を醸成し，郷土やものづくりの魅力を内外に発信できる人材の育成と，新たな価値を創造し，社会に貢献できる次世代の人材育成を目指す。</p>
協働先	<p>鹿児島モノづくり推進協議会事務局，霧島市役所商工観光部，霧島市文化協会溝辺支部，第一工科大学，KCS 鹿児島情報専門学校，霧島市立国分中央高等学校，霧島市立霧島中学校，霧島市立隼人中学校，霧島市立日当山中学校，霧島市立牧園中学校，初午祭実行委員会，株式会社藤田ワークス，マイクロカット株式会社，ヤマグチ株式会社，株式会社アルバック，ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社，株式会社オーガランド，ソフトマックス株式会社，有限会社重久盛一酢醸造場，SDGs products 株式会社</p>

刊行に当たって

近年、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や、若年世代の大都市への流出により、人手不足が生じており、地域が抱える問題は一層深刻化しています。こうした中で、地域を担う人材の育成は喫緊の課題となっています。

そこで県教委では、高校と市町村、教育機関、産業界等がコンソーシアムを構築し、地域を題材とした探究的な学びの実践や、産学官連携による専門的職業人材を育成するため、「地域を担う次世代人材育成プロジェクト」を実施しており、今年で2年目を迎えます。

本事業は、郷土に愛着をもち、地域ならではの新しい価値を創造する人材の育成と、地域振興の核として高校の機能強化を支援することを目的としており、今年度は探究的な学びを醸成する「探究コース」に、鹿児島南高校、大島北高校を指定し、専門的職業人材を育成する「エキスパートコース」には、昨年度に引き続き、鹿児島水産高校、隼人工業高校を指定しました。

鹿児島南高校では、商業科・情報処理科において、「南のお宝発見隊！」をテーマに、フィールドワークや県内企業と協働した商品開発、地域行事への積極的な参加等をとおして、地域の活性化に貢献できる人材の育成に取り組みました。

大島北高校では、普通科・情報処理科において、「奄美を担う次世代人材育成プロジェクト」をテーマに、地域の人やモノなど、多様な教育資源と関わりながら、地域への興味・関心を高め、地域課題の探究をとおして課題解決力を養うなど、地域への理解と愛着を深める活動に取り組みました。

鹿児島水産高校では、海洋科において、「アマモとチョウザメでつなぐ未来」をテーマに、以前から継続して取り組んでいるアマモの育成及びアマモ場の造成、チョウザメの飼育及びキャビアの生産・販売に加え、今年度はキャビアの安定的な生産や魅力創出に向けた活動を新たに実施しました。これらの活動をとおして、海や水産資源の価値を高めるとともに、地域や関係機関と連携しながら、次世代へ豊かな海づくりの精神を広げる人材の育成や、生徒の自己有用感の醸成につながる取組を行いました。

隼人工業高校では、インテリア科・電子機械科・情報技術科において、地域の特性を生かし、「新時代を切り拓く地域融合型人材育成プロジェクト」をテーマに、行政・教育機関・産業界で組織するコンソーシアムのもと教育活動を展開してきました。今年度は、これまでの取組を継続しつつ、デジタル技術やアントレプレナーシップ教育を新たに加え、ものづくりや起業・流通・販売の知識を身につけた専門的職業人の育成に取り組みました。

本事業による地域を題材とした探究的な学びや地方創生に向けた取組は、地域や社会の将来を担う人材の育成に資するとともに、高校を地域振興の核として機能させる上で大変重要であり、今後さらなる充実を図って参りたいと考えております。

最後に、本事業の実施に御協力いただきました関係各位に感謝申し上げますとともに、各学校においては地域と協働した教育活動がより一層充実するよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年3月

高校教育課長 吉元 彰 一

令和7年度 郷土教育推進事業 ～地域を担う次世代人材育成プロジェクト～ 実施要項

1 目的

地域を担う次世代人材を育成するために、高校と市町村、高等教育機関、産業界等がコンソーシアムを構築し、地域を題材とした探究的な学びや、産学官連携による専門的職業人材育成を实践する。その過程を通じて、郷土に愛着をもち、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成するとともに、地域振興の核としての高校の一層の機能強化を目指す。

2 内容

(1) 実施方法

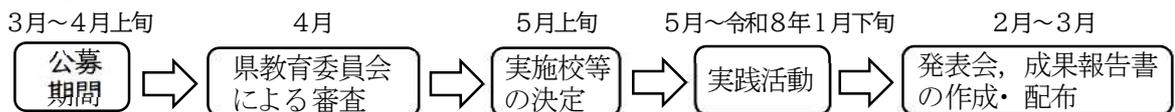
- ア 探究的な学びを醸成する「探究コース」と、専門的職業人材を育成する「エキスパートコース」を設定する。
- イ 実施校の代表生徒によるスキルアップセミナーを開催し、探究活動を深めるために必要な知識や技術の習得を目指す。
- ウ 年度末には、アンケート調査等により、事業の成果を確認するとともに、成果発表会の実施及び成果報告書等を関係機関に配布し、事業の成果を周知する。

(2) 実施規模

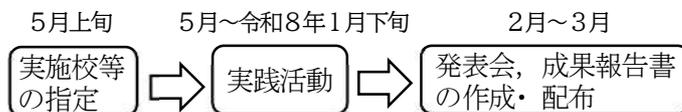
- ア 両コース共に数校程度とする。
- イ 1指定当たりの予算額は「探究コース」は35万円程度、「エキスパートコース」は115万円程度とする。
- ウ 原則として単年度ごとに指定する。ただし、更なる効果が期待できるなどの理由で継続して同一校を指定することもある。

(3) 事業のスケジュール

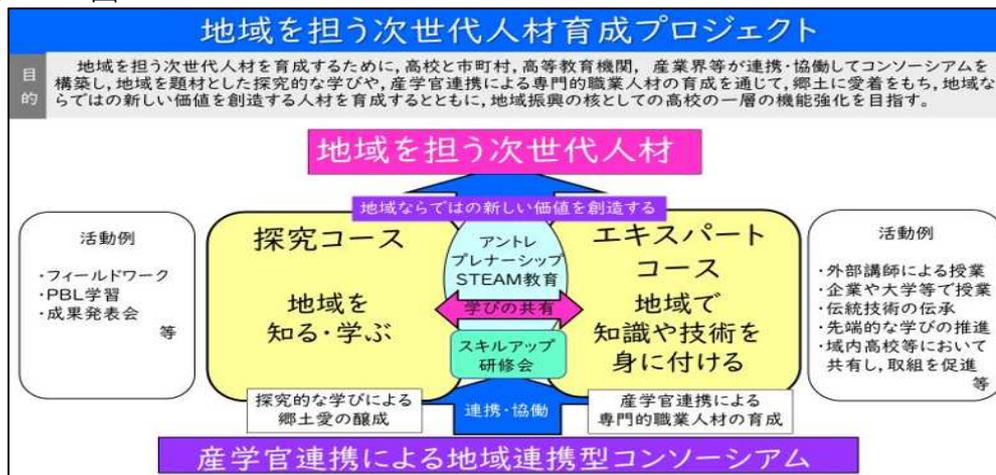
ア 探究コース



イ エキスパートコース



(4) イメージ図



3 期待される主な効果

- 地域ならではの新しい価値を創造する人材の育成
- 地域の専門人材の活用等による実践的な職業教育の充実
- コンソーシアムの構築やコーディネーターの活用等による高校と地域との連携強化
- 人間関係形成・社会形成能力や課題対応能力等の基礎的・汎用的能力の育成
- 地域における魅力ある高等学校づくりの促進
- 地域資源の活用による起業意識の醸成
- 生徒一人一人の企画力・実践力の向上及び学校の活性化
- 実施校による成果発表会の実施、成果報告書の配布及び県教育委員会のホームページへの掲載等による事業成果の還元